

令和4年度 生徒・保護者・教職員 総合評価と考察

番号	質問	総合評価			考察 S：優れている A：良好 B：概ね良好 C：取組の充実が必要 D：取組に課題がある
		生徒	保護者	教職員	
1	学校へ行くことが楽しい	A	*	*	全体としては、肯定的な意見をもつ生徒が約85%と多く、昨年度と比べても肯定的な意見が増えています。新型コロナウイルスの流行で一時中止していた様々な取組みが、少しずつ状況に応じて再開していることも一因かと考えています。否定的な意見もあるということ念頭に、今後もさらに生徒一人一人が安心して通うことができる魅力ある学校づくりに努めます。
2	清中に入学してよかった。	A	A	*	生徒88% 保護者89%と肯定的な回答です。今後も、子どもが安心して生活し、学ぶことができる学校づくりに努めます。
	生徒：清中に入学してよかったと思う 保護者：子どもが清中に入学してよかったと思う				
3	学校行事は有意義なものになっている	S	A	S	行事の意義や目的の共通認識を図り、その時の条件の中で生徒の安全安心を最優先にした上で、持続可能な工夫ある行事運営に努めます。
	生徒：学校行事を充実させたい 保護者：学校行事は有意義なものになっている 教職員：学校行事が生徒にとって価値ある体験となっている				
4	朝の読書の時間について	B	A	A	教科の授業が始まるまでの朝の一時、生徒が集中し取り組むことができる雰囲気づくりに努めます。
	生徒：朝読書の時間は、有意義な時間だと思う 保護者：子どもにとって朝読書の時間は有意義なものとなっている 教職員：朝読書の時間は生徒にとって充実したものとなっている				
5	考査前学習会は有意義である	D	A	B	学力向上に向けて、継続的な取り組みが必要であると考えています。その方法については今後も検討を続けます。
	生徒：考査前の学習会があれば、ぜひ参加して学びたい 保護者：子どもにとって考査前学習会などの機会があればぜひ参加させたい 教職員：考査前の学習会は生徒にとって有意義なものになっている				
6	週に1回の「視写」は有意義である	D	C	B	これまでの評価を受け、今年度その実施方法について大幅に見直しを図りましたが、その意義について伝えることが不十分であると感じています。今後の在り方についてさらに検討をするとともに、目的についての理解が深まるよう取組みます。
	生徒：週に1回の「視写」は継続して取り組むことで、自分にとって有意義な取組だと思う 保護者：週に1回の「視写」は有意義なものとなっている 教職員：週に1回の「視写」は充実した取組みとなっている				
7	わかりやすい授業を行っている	S	B	S	生徒の回答は肯定的な意見が大半を占めました。教職員研修等を通して、今後も研究に努めます。
	生徒：先生はわかりやすい授業をしてくれている 保護者：先生は、わかりやすい授業をおこなっている 教職員：生徒にとってわかる授業を実践している				
8	学習に関する質問に丁寧に答えている	S	*	S	引き続き、質問しやすい関係づくりに努めます。また、わかりやすい説明の仕方の研修を心がけます。
	生徒：先生は、学習に関する質問に丁寧に答えてくれる 教職員：学習に関する生徒の質問に丁寧に答えている				
9	生徒の学習成果を適切に評価している	S	S	S	指導や評価方法について肯定的な回答が多く、一定の理解が得られていると考えています。今後も学習成果を適切に評価し、生徒の学ぶ意欲に繋がられるよう努めます。
	生徒：先生は、学習の評価を適切にしてくれている 保護者：先生は、子どもの学習成果を適切に評価している 教職員：生徒の学力や学習到達度を適切に評価している				
10	学校のきまりや社会のルールを守る	S	A	A	社会のマナーや集団のルールを意識して学校生活をしている様子が見られます。「決まっているルールを守る」ことの大切さを教えるとともに、ルールそのものについては検討を進めます。
	生徒：学校のきまりや社会のマナーを守って生活している 保護者：清中生は、学校のきまりや社会のルールを守って生活している 教職員：社会のルールやマナーが身に付くよう指導している				
11	いじめのない学校にする努力をしている	S	S	S	いじめアンケート調査に頼らず日頃の生徒との関わりを大切に、いじめが起こらない環境づくりに努めます。
	生徒：先生は、いじめのない学校にしようと努力してくれている 保護者：先生は、いじめのない学校づくりに努力をしている 教職員：暴力やいじめのない学校や学級づくりに努めている。				

令和4年度 生徒・保護者・教職員 総合評価と考察

番号	質 問	総合評価			考 察 S：優れている A：良好 B：概ね良好 C：取組の充実が必要 D：取組に課題がある
		生徒	保護者	教職員	
12	先生は生徒をよく理解している	A	S	S	今後も教育相談等の機会をとらえ、生徒一人一人の変化にいち早く気づき、適切な声掛けができるよう務めます。 生徒：先生は、あなたのことをよく理解してくれている 保護者：先生は、子どものことをよく理解してくれている 教職員：生徒一人一人を理解し大切にした教育活動を行っている
13	災害や不審者に対する備えについて	S	*	S	今年度敷地内の安全点検を行い、危機管理について見直しを図りました。今後も教職員が危機管理についてアンテナを高くし、生徒にも徹底していきます。 生徒：毎日、安全に登下校するよう心がけている 教職員：災害時や緊急時の避難行動について適切に指導している
14	教え方を工夫している	A	*	S	今後も学び続ける教職員の姿勢を大切に、研修体制を構築し、全ての生徒が「授業が楽しい」と思うことができる授業づくりに努めます。 生徒：教え方を工夫してくれていると思う 教職員：授業研究を通じて授業方法の改善に取り組んでいる
15	自分の健康について	S	*	S	生徒が自らの身体について自己管理意識を高める為に、家庭と連携し、養護教諭をはじめとして、全教職員で教科及び学級指導などを通して指導をします。 生徒：自分自身、健康で安全な日常生活が送れるよう気をつけている 教職員：生徒が自分の健康管理を心がけるよう指導している
16	清掃活動への取り組みについて	S	S	B	学習環境を自分たちで整える意識をもち、清掃活動に取り組むことができるよう、今後も取組みを継続します。 生徒：学校を美しくするために、しっかりと清掃活動に取り組んでいる 保護者：美しい学校環境を保つために清掃活動等に取り組んでいる 教職員：生徒の清掃活動等を適切に指導している。
17	生徒や保護者が困っているとき真剣に相談にのってくれる	*	S	S	生徒の心身の変化に気づき、適切な支援や指導をする為には、学校と家庭の連携協力が重要です。今後も引き続き、適切に保護者に情報を提供し、相談しやすい体制を整えます。 保護者：先生は、生徒や保護者が困っているとき真剣に相談にのってくれる 教職員：生徒や保護者が困っているときは素早く相談にのっている
18	系統的な進路指導を適切に行っている	*	A	S	中学校入学から卒業まで、教育活動全体を通して系統的に進路学習に取り組めます。 保護者：学校は職業観や勤労観を培うなど、進路指導を適切に行っている。 教職員：3年間を通じた系統的な進路指導を行っている
19	学校は健康と安全に配慮している	*	S	*	生徒が心身ともに健やかに育つことを願い、保護者の協力と理解を得ると共に、生徒が安心して学校生活をおくることができるよう努めます。 保護者：学校は、子どもが安心して学校生活を送れるよう健康と安全に配慮している
20	教育方針や教育活動の意義を適切に知らせている	*	A	*	学校教育活動が生徒の望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め仲間を大切に協力し、より良い学校生活が築けるよう家庭や地域などへの情報発信に努めます。 保護者：学校は、教育方針や教育活動・行事の意義について適切に知らせている
21	学校や子どもの様子をよく伝えている	*	A	S	学校の状況を保護者や地域に広く伝えることができる手段として、ホームページや通信などを活用し、今後も積極的に情報提供をしたいと考えています。 保護者：学校はホームページや各種通信等で、学校や子どもの様子をよく伝えている 教職員：ホームページや各種通信等を通じて、学校の情報を適切に発信している